

木材ジャーナル名古屋・世ぶ

令和3年1月号 No.164

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

頌
春

二〇二二年



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



年頭のごあいさつ

名古屋木材組合
組合長 西垣 洋一

2021年 新年の干支「辛丑(かのとうし・しんちゅう)」に思う

痛みの伴う幕引きと大きな命が芽吹く年！！

“機に臨み、変に必ず” 融通無碍(ゆうずうむげ) に対処！！

新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は皆様には、組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

オリンピックイヤーとして始まった2020年は、正にコロナ禍一色の年となってしまいました。未知のウイルスは、パンデミック(世界的大流行)を引き起こし、人類は今なおその脅威に晒されています。日本でも現在第3波が襲来、感染が再拡大し、医療体制が逼迫、GoToトラベルも一時停止され、医療体制の崩壊、経済活動の再停止の瀬戸際に追い込まれています。又感染防止策により生活様式は一変、企業活動も多くの制約を受け、日本経済は大きな打撃を受けています。

2021年の干支は、「辛丑(かのとうし・しんちゅう)」になります。「辛」は季節で言えば秋の終わり頃、植物なら枯れた状態であり、実は腐って地面に落ち、次世代のタネを大地に落とす途中。「丑」は発芽直前の曲がった芽が種子の硬い殻を破ろうとしている状態で、命の芽吹きを表しており、種の中に、はち切れそうなくらい生命エネルギーが充満している状況を言います。又「辛」と「丑」は「陰陽五行」では相手の力を生かし強めあう「相生」の関係です。干支は本年を緩やかな衰退、痛みを伴う幕引きと、新たな命の息吹が互いを生かし合い、強めあう年になると指し示し、大きな転換期の年となると教えています。

コロナ禍の「禍(か)」は訓読みでは「わざわい」。「わざわい」には「災」と「禍」の2つがあり、易经では「災」は自然発生的な天災を意味し、「禍」は戦禍など人間が引き起こす出来事であると説いています。感染症の歴史を見れば人類は、「禍」に打ち勝っています。只、人は「禍」の真只中では、不安を感じ悲観し、立ちすくんでしまいます。

このような時、松下幸之助翁は、「悲運と思われよう場合には、悲観し絶望しやすいのが人間であるが、しかしそういう場合でも希望を失わず、その日その日を真剣に生きていくよう心がけてゆくときに、思わざるところから道がひらけてくるものではないだろうか」と説いています。

戦後、松下電器産業の再建に臨む幸之助翁は、社会の混乱の続く1947(昭和22)年の年初の経営方針発表会で、いかなる変化にも立ち向かう覚悟を持つよう社員に訴え、次のように語っています。

「今日のこのような状況下においては、1ヶ年の方針を立てることはできません。やむを得ずに行き当たりばったりの経営も覚悟しなければならないのです。この考えを押しつめれば、時に応じて“融通無碍”、すなわち、どう変化しようなるとも、情勢に順応して展開させるという信念に立つことです」

幸之助翁の経営哲学は、その真髄である「素直な心」の働きの1つをこの“融通無碍”で説明しています。“融通無碍”とは、1つの見方、考え方にとらわれるのではなく、どんな困難に直面しても自らの歩みをスムーズに進め、自由自在にものを見、考え方を変え、よりよく対処していくことです。

コロナ禍の中迎えた本年は、コロナ前の考え方に“とらわれず、こだわらず、偏らず”の心を持って、幸之助翁の教えである“機に臨み、変に必ず”の姿勢で対処し、ニューノーマル(新常态)への適応を図りたいものです。又、組合としましては、皆様と共に業界の悲願である「ウッドファースト社会の実現」に向け、新たな木材需要の創造に注力して参ります。本年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は名古屋港木材産業協同組合の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。

さて、昨年日本経済は新型コロナウイルス感染拡大の影響でかつてない程の大きなダメージを受けました。特に飲食や旅行のような人の移動を伴うような業種においては売上の減少が70～90%以上にもなり、今なお苦しい状況は続いています。

木材建材業界に関しては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が比較的小さく、コロナ禍のライフスタイルにおいてゆったりとした戸建て住宅に住むことの良さが見直されてきているように感じます。

木産協の理事長として本年3期目をむかえますが、飛島村、弥富市、名古屋港管理組合との関係を良好に保ち、木材港の環境整備についての要望活動を継続的に行っていきたいと考えております。

また2021年前半には、いよいよ名古屋第二環状自動車道（名二環）の名古屋西JCT～飛島JCTが開通する予定で、名古屋駅や小牧方面への道路アクセスの利便性は大きく向上します。ぜひとも名古屋駅からの直通バスの運行等、立地企業で働く従業員の方々の通勤利便性が高まるよう働きかけていきたいと考えます。

さて昨年発足した菅政権が市場競争をより重視し、企業間格差や淘汰を容認する「新自由主義」的な発想で政策を進めていくことが徐々に明らかになってきております。企業経営にとって緊張感の絶えない時代が続きますが、悪夢のような新型コロナウイルスの感染が終息し、皆様にとって新しい年が不安の少ない一年となりますように祈念申し上げ新年のあいさつとさせていただきます。

「Tobishima Lights」

令和2年12月11日(金曜日)午後5時に「Tobishima Lights」イルミネーション点灯式が行われ、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会 服部伸一会長が参列しました。点灯ボタンが押されると、飛鳥村役場のシンボルツリーに装飾された電球が幻想的に灯り会場が歓声に包まれました。

加藤光彦飛鳥村長は、挨拶で「「Tobishima Lights」は、コロナ禍における地域経済の活性化を主たる目的としつつ、新型コロナウイルス感染症対策に尽力される医療、福祉関係従事者の皆さま、生活基盤維持のため営業を続ける事業者の皆さま、そして村民と村内に立地されている企業の従事者のすべての皆さまにとって「希望の光」となることで、元氣と感謝の気持ちを届けたいという想いを込めて点灯いたします」と述べました。

当企業連から多くの協賛をいただいた今回のイルミネーションは、飛鳥村中央公民館前の美しいけやきが、飛鳥の海のイメージのブルーと輝かしい希望に満ちたゴールドの輝きの2色で彩られ、各色15,000球ずつの合計3万球装飾されています。ブルーの輝きからゆっくりとゴールドに移り変わり、またブルーに戻る。2つの光の色の移り変わる様子をお楽しみいただけます。皆様もぜひ足を運んでいただきご覧ください。



左より 佐藤正明 飛鳥村商工会長
加藤光彦 飛鳥村長
伊藤秀樹 飛鳥村議会議員
服部伸一 名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会会長

開催期間 :2020/12/11~2021/02/14
点灯時間 17:00~22:00
開催場所 飛鳥村中央公民館玄関付近

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

蟹江警察署管内で自動車の盗難被害が多発しています。

防犯対策をしっかりと行い、大切な自動車を盗まれないようにしましょう。

防犯対策

- わずかな時間でも自動車を駐車する際は、必ず施錠してください。
- ハンドルロック、タイヤロック等の防犯器具を活用しましょう。

蟹江警察署 生活安全課生活安全係 TEL.0567-95-0110



▲ハンドルロック

▶タイヤロック

◆ 広告コーナー

GENEO *Rinova*

トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
 名港営業所 TEL:0567-55-0722
 小牧営業所 TEL:0568-77-5365
 高山営業所 TEL:0577-33-4020

KMEW

ケイミューが培ってきた
技術と経験で、
屋根・壁・雨といを
トータルにご提案します。

ケイミュー株式会社 【本社】〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見 1-2-27 クリスタルタワー 13F
ケイミューは「パナソニック」と「クボタ」が出資している両社のグループ会社です。

お客様ご相談窓口 ☎ **0570-005-611** ●受付時間：月～金9:00～17:00

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 服部伸一
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会